

2020年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（法学部）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、2020年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

ビッグデータに基づく予測を様々な分野で利用する動きが、近時加速化している。本問は、様々な分野におけるビッグデータの効用と脅威について論じた4つの文献を取り上げて、各分野において、ビッグデータが誰（又は何）にとってどのような効用又は脅威をもたらすかを整理させる。このことを通じて、ビッグデータの活用がいかなる課題に直面しているかを理解させるのが出題の意図である。

評価のポイントは、ビッグデータの効用と脅威を抽出できているか【読解】、ビッグデータの効用と脅威が誰（又は何）に対するものかを特定できているか【分析】、ビッグデータの活用がもたらす効用と脅威とを適切かつ明快に対比できているか【構成】である。